

希望に満ちて

さいたま市立大門小学校

自 ら 学 ぶ 子
だれとでも仲よくする子
進んできたえる子
人とのかわりを大切にする子

希望

校長 石黒 真愁子

保護者の皆様、地域の皆様には、ご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年の元日も実に気持ちのよい朝でした。体は冷氣に包まれつつも、心は新たな希望でいっぱいになりました。昨年12月に公開された映画スターウォーズのスピノフ映画「 로그・ワン/スター・ウォーズ・ストーリー」のキーワードは「Hope never dies」(希望は死なない)です。力の湧いてくる言葉です。

さて、子どもたちは新しい年を迎え、どのような思いを抱いているのでしょうか。

イギリスの政治家ボールドウィンの名言に「志を立てるのに遅すぎるということは決してない」という言葉があります。江戸時代に日本地図を作成した伊能忠敬が志を抱いて江戸へ出たのは、寛政7年(1795年)、忠敬50歳の時でした。それから全国を行脚し、後世に残る多くの地図を完成させていったのです。

現代社会は当時と状況が異なり、価値観が多様化し、変化の激しい不透明な荒波の中、子どもたちはなかなか目標を立てられずに、毎日を漫然と過ごしてしまうときもあるように見受けられます。しかし、子どもたちには、たとえ理想通りにいかない現実があったとしても、夢をもち続け、一歩ずつでも、日々小さな目標の達成を重ねていくことが自信となり、自らの人生をたくましく切り拓く勇気の原動力になっていくことをわかって欲しいと願っています。

読売ジャイアンツからニューヨークヤンキースに移籍し、後のワールドシリーズで日本人選手として初の最優秀選手に選ばれた松井秀樹選手は、自身の著書「不動心」(新潮社)の中で、「大きな夢に向かうために、小さなスパンでの目標を立て、一進一退をしながらも、一歩ずつ着実に実現に向かう努力をし、その度に味わう小さな成功体験の積み重ねが自信となって次へのステップを引き出していた。」と語っています。

新年を迎え新たなスタートの時期。子どもたちにはぜひ、新たな目標を立て、夢に向かって歩き出して欲しいものです。

年頭にあたり、

「少年よ 大志を抱け」(アメリカの教育者クラーク博士の言葉)

この言葉を掲げ、未来を担う子どもたちの夢に寄り添い、今年も教職員一丸となり、全力で教育活動にあたってまいります。

保護者や地域の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。